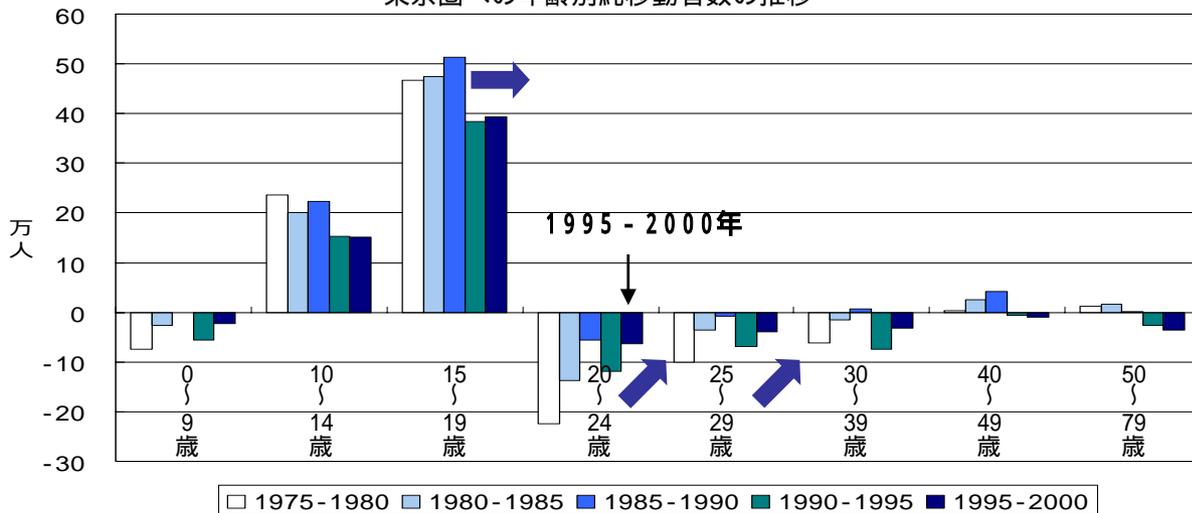


指標：東京圏の人口の転入超過数（年齢別）

東京圏への人口の年齢別純移動者数は、大学等入学時（10歳代）に増加し、卒業時（20歳代）に減少するという傾向がみられる。時系列で90年代前半から後半にかけての推移をみると、10歳代の転入超過数が横ばいで推移している中で、20歳代の転出超過数が減少しており、90年代後半の東京圏への人口集中が転出の減少を主因とすることを裏付けている。

東京圏への年齢別純移動者数の推移



(出典) 総務省「国勢調査」より国土交通省国土計画局作成。